

# 奈良県立大学生協 防災意識向上ウィーク



[激甚災害支援  
・防災]

## 取り組み概要

日時：1/20(月)～1/24(金)

場所：購買店舗、コモンズ棟2階オープンスペース

組合員の反応：「知らなかったことを知れた」、「防災意識を高められた」等の意見が寄せられた。

背景や概要：「ふくしまスタディツアー2024」への参加をきっかけに、災害を自分事として捉える組合員を増やしたいと思い、体験型ブースを多く含む企画を行った。

主体的に学ぶ機会をつくり、  
自助につなげる

### POINT.1

## 楽しく能動的に学べる体験型ブース



コモンズ棟2階オープンスペースでは、楽しく能動的に学べる体験型ブースを展開していました。「防災バッグ詰め込み体験」のブースでは、災害時に必要なものを考えて自分で防災バッグに詰める体験ができます。自分の詰めたものと実際に必要とされている量を比較しその違いに気づくことで、体験者が自ら災害対策の行動を起こすきっかけになっていました。

また、段ボールベッド・段ボール椅子の作成と利用を体験できるブースでは、作り方を知るだけでなく避難時の様子を想像することができました。

### POINT.2

## 「ありのまま」の学びから、主体的に考えてもらう

この企画は、「ふくしまスタディツアー2024」というセミナーに参加し、福島県で3つの施設見学と語り部講和を通じて東日本大震災や防災について学んだ学生委員が、「被災者と組合員の学びの架け橋になりたい」という想いから立案しました。学生委員が見て聞いて感じた「ありのまま」の学びをポスターとして掲示しており、それを見た参加者が自分で考えて付箋出しするスペースや、シール貼ることで自分の現状や意見を示すブースが設けられていました。



### POINT.3

## 購買の商品を使った「非常食セット」の提案



購買店舗では、普段から購買で販売されている商品を集め、「非常食セット」として展示しました。救援体制が整うまでにかかると考えられている約3日分の水と食料を展示し、視覚的に印象に残るように工夫されています。

購買の商品を使って「非常食セット」を提案することで、防災準備が大学生協でも行えることを組合員に感じてもらうことを意識していました。